

令和7年度 信濃教育会「学び創造研究会」

## 松本市立女鳥羽中学校 開催要項

みんながWIN・WINになる地域共創のキャリア学習



「本郷地区文化祭の打ち合わせ」



「アップサイクルプロジェクトの商品開発」



「SMILEプロジェクトの施設訪問」



「松本十帖でのビオトープ造成」

令和7年11月21日

松本市立女鳥羽中学校

# 令和7年度 信濃教育会「学び創造研究会」松本市立女鳥羽中学校 開催要項

## I 研究会運営について

- 1 期 日 令和7年 11月 21日（金）
- 2 会 場 松本市立女鳥羽中学校
- 3 共同研究者 大東文化大学文学部教育学科 中村麻由子准教授
- 4 公開領域 総合的な学習の時間 その中核活動としてのキャリア学習
- 5 授業公開学級 3学年 全3学級（80名）  
 授業者 3 学年 伊藤 輝己、嶺村 直毅、樋口 力也、中村 少英、原 和弘  
 丸山 由加利、内山 徹、北澤 信(研究主任)
- 6 日 程

| 内 容           | 時 刻         | 会 場              |
|---------------|-------------|------------------|
| 参会者受付（生徒玄関）   | 13:10～13:40 | 受付後は体育館へ移動してください |
| 公開授業（50分間）    | 13:40～14:30 | 体育館及び木工室         |
| 開会行事          | 14:40～14:50 | 音楽室(北校舎3階)       |
| 車座授業談義（授業研究会） | 15:00～16:30 | 音楽室              |
| 閉会行事          | 16:30～16:40 | 音楽室              |

- (1) 公開授業の内容および会場 13:40～14:30

| 開設講座名称・授業会場                                                                                                                                 | ①学習内容概要 ②公開授業の内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当職員      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>浅間温泉「松本十帖」</b><br><b>ビオトープ造成講座</b><br><br>体育館<br><br> | ①浅間温泉のホテル「松本十帖・ホテル小柳」の日本庭園をビオトープ化して学校・企業・地域で維持管理および自然学習や憩いの場として活用していくしくみをつくる。<br>②これまでの活動記録をパワーポイントでまとめモニターに表示しプレゼンテーションを行う。<br>・ ビオトープ用に捕獲したヌマエビ、サワガニ、イモリ等の水槽を展示して、捕獲場所、捕獲時期、捕獲方法、生態などをまとめて水槽横に掲示する。<br>・ 来場者に活動記録の説明を行い、説明しながら各自の活動により感じた事も説明に盛り込む(説明は4名1チームで行い、前半2チーム、後半2チームとする。説明はチームごと4名で分担して行う。)<br>・ 発表が無いチームの生徒は、他の講座の見学をする。 | ○中村<br>北澤 |

|                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| <p><b>ブックプロジェクト</b><br/>～女中生本～</p> <p>体育館</p>                              | <p>①中学生の感性で地域の写真、短歌、イラスト、貼り絵などで本を手作りし、松本市内に多い独立系書店で販売する。地域のパンフレットや絵地図など出版、印刷に関わっていく足掛かりとする。</p> <p>②本になる前の写真、イラスト(原画)、短歌、貼り絵を展示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで作ってきた本(試作品)を展示する。</li> <li>・来場者に自分の本について、どんな本にしたいのか各自の願いを説明する。</li> <li>・これからの活動予定の展示と説明をする。(各自が数十部作成して、独立系書店で販売することなど)を説明する。その際に同じチームで説明を手伝ったり一緒に説明したりする。(前半チームと後半チームで分かれる)</li> <li>・発表が無い生徒は、他の講座の見学をする。</li> </ul> | <p>○北澤内山</p> |
| <p><b>SMILE プロジェクト</b><br/>～女中エンターテイメント～</p> <p>体育館</p>                  | <p>①高齢者福祉施設や地域の催しに出向き、ダンスや楽器演奏、手遊びなどを披露したり、利用者と楽しんだりする。今後もつながるしくみをつくる。</p> <p>②講座のプロモーションスライドを流す。施設訪問で披露したり、普段練習したりしている出し物を参会者や他講座の仲間に見てもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏チームの生演奏を披露する。</li> <li>・ダンスチームのダンスを披露する。</li> <li>・メンバー全員での合唱を披露する。</li> </ul>                                                                                                                                 | <p>○丸山樋口</p> |
| <p><b>女中「子ども食堂」運営プロジェクト</b><br/>木工室(クリスマスリース作り)<br/>体育館(これまでの活動の発表)</p>  | <p>①昨年より始まった子ども食堂の運営に関わり、会場である岡田公民館を拠点に人々がつながっていく場をプロデュースしていく。</p> <p>②通常の活動及びこれまでの経過をTVで見ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂に持っていく自然素材を使ったクリスマスリース製作の仕上げ作業。</li> <li>・大型モニターで、これまでの活動の様子(中間発表動画)を上映して説明をする。</li> <li>・交代でリースの製作をしたり、他講座の見学をしたりする。</li> </ul>                                                                                                                        | <p>○嶺村原</p>  |
| <p><b>地域資源活用プロジェクト</b><br/>～女中アップサイクル～</p> <p>体育館</p>                                                                                                       | <p>①富成伍郎商店(豆腐店)のおから、柳沢林業の間伐材などに付加価値をつけて商品化したり、その提案を行ったりしていく。</p> <p>②これまでの活動の中間まとめの発表。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>○伊藤内山</p> |

|                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
|                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工作品の展示と販売。</li> <li>・おからを使用した料理の試食会。</li> <li>・木工班・料理班それぞれ2グループに分かれ、これまでの活動の説明や販売をする。</li> <li>・説明や販売をしながら他講座の見学も交替で行う。</li> </ul>                                                                                                                 |          |
| <p><b>CFPP</b><br/> <b>～Culture Festival</b><br/> <b>Produce Project～</b><br/>         体育館</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①本郷公民館を主会場として11月8, 9日に開催される本郷地区文化祭の運営に携わり、地域づくりに中学生が参画していく実績としくみをつくる。</li> <li>②本郷地区文化祭を計画・運営していくまでの過程を発表する。</li> <li>・企画案の立案・提案・再考の様子をスライドで流す。</li> <li>・文化祭当日の様子を展示や説明で発表する。</li> <li>・スライドを流しながら発表をする。</li> <li>・前・後半で、発表と他講座の見学にわかれる。</li> </ul> | ○樋口<br>原 |

(2) 開会行事 14:40～14:50 音楽室(北校舎3階)

- ① 主催者挨拶 信濃教育会 研究調査部長 清水 秀明
- ② 会場校校長挨拶 松本市立女鳥羽中学校長 普明 秀幸

(3) 車座授業談義 15:00～16:30 音楽室

- ①共同研究者 大東文化大学文学部教育学科 中村麻由子准教授のご紹介
- ②車座授業談義 座長 山岸洸希 (2学年・社会科)  
 倉科 黎 (1学年・国語科)

## 車座授業談義ってなあに？ それはライブの広場



授業研究会というとグループ討議の形が多いですね。後でグループ代表が討議内容をまとめて発表して共有化を図りますね。付箋を皆で貼り合う方法もあります。このようなやり方は、一人の発言の機会が多くなるというメリットがあります。ただし、一人当たりの「発言数」が多くなるこ

と、参会者の考えを「共有」できることが授業研究における「いい会」の目安だとは思えません。少人数での討議は、何か喫緊の問題やプロジェクトで結論を急ぐ場合には有効ですが、授業研究会とは、そういうものではないように思います。

授業を参観した後「授業について、子どもについて」語り合うときは、子どもたちが一堂に集って学び合う教室の光景を私たちも引き継ぐように、一人一人の参会者が「思い」や「声」や「語り」を生々しく伝え合い、皆で受け取り合うこと、そのような場のありようが重要だと思います。

本校で3年前からやってきた「車座授業談義」には、指導者や助言者のご指導はありません。大学の研究者も指導主事も全員が対等に思い思いに語り、聞き合います。全参加者が一人一人の生の声を受け止めること、話し手も全員に語りかけ、聞いてもらう場となることに意味や価値があると考えています。これが、パブリックな場(全教科、全領域で行われる授業・・・人が集う学校のあらゆる場)のあり方として、本校の授業研究に通底しているものです。

(4) 閉会行事 16:30～16:40 音楽室

①会場校校長お礼 松本市立女鳥羽中学校長 普明 秀幸

②感想記入 諸連絡

## 7 連絡・その他

(1)本要項は、各自印刷してご持参ください。

(2)駐車場は、玄関前、北校舎周囲です。

(3)受付、正面生徒玄関です。その奥が体育館です。

(4)授業会場は、体育館(および近くの木工室)となります。暖かい服装等、ご準備をお願いします。

(5)公開授業は50分間ですが、地域の方も見えていますので延長して発表や活動をしています。

(6)ご不明の点は、本校までご連絡ください。(女鳥羽中学校 教頭 佐藤正志 0263-46-0285)

## II 研究内容について

### 1 はじめに・・・最近のできごと

10月の最終日に私は、所用で立川市にいました。多摩モノレールに乗っていて乗り換えのために立川北駅で降りました。私たちは、降車した大勢の人波の後からゆっくりと階段へ向かいました。途中、人がまばらになったホームで階段の手すりにもたれかかって一息ついている高齢のご婦人が目に留まりました。そこを通り過ぎて階段を下ろうとしたときにそのご婦人が床にしゃがみ込む姿が見えました。妻がいち早く駆け戻り私も追いました。先を歩いていたはずの学生風のアジア人の青年も駆けつけました。「大丈夫ですか」と尋ねると途切れ途切れに「急に気持ち悪くなった」とぐったりとしています。私は、下の階の改札に走り駅員さん呼んで一緒に駆け戻りました。もう、そこには4、5人の人が集まってきていて、ご婦人を介抱していました。高校生くらいの青年が手持ちのポカリスウェットを「これどうぞ」とご婦人に差し出していました。まもなく別の駅員さんが車いすを持ってきました。ご婦人は「少し良くなった」と言っていました。もう安心の様子でした。そこに集まっていた人たちもほっとした表情でそれぞれに去っていきました。気づくと向かいのホーム上でもこちらの様子を心配げに見守っていた人々がたくさんいました。その人たちも一様にほっとしているように見えました。

よく、「都会人は冷たい」「都会では人と人とのつながりや関心が希薄になっている」とか言われます。でも、

あの場面で幾人もの若者たちが集まってきてくれたことには、うれしさや希望を感じました。街中で遭遇した急病人にとっさに駆け寄る行為は、救急救命や AED のスキルを身に付けているとか、高いコミュニケーション力を備えているとかが支えていたようには思えません。とにかく「他人事じゃあ無かった」んだらうと思うのです。助けた人たちも、線路を隔てて固唾をのんで見ていた人たちも事態が収まっていく様子は「自分事であって、ほっとして」安堵の表情になったのです。これって、助けた、助けられたの関係では無くて、あの事態に臨場した人たちが救われたんだと思います。

これまでの人生で「人に助けられたり」「助けてあげたり」「お互いさまって思ったり」「お互いさまって言われたり」「なんか一緒にやって良かったり」「一緒にやったから分かったり」「人に受け止めてもらえたり」「そんな人たちの姿を見てきたり」……そのような体験があつてこそ必要な時に人に関わられたり、体が動いたり、人の行為に共感したり、協業が楽しかったり……できるのだと思います。

## 2 女鳥羽中学校が考える「キャリア学習の価値」

2000 年前後「フリーター」や「ニート」と定義される若年層の急増を踏まえその雇用問題（就業人口の減少、労働力の減少）に対する政府全体の対策として、文部科学省、厚生労働省、経済産業省および内閣府の関係府省で連携強化を図り、2003 年（平成 15 年）文部科学大臣ほか関係 4 大臣によって提言「若者自立・挑戦プラン」が取りまとめられました。これに基づき、将来危惧される「就業人口、労働力減少」を予防すべく若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的とする「キャリア教育」が始まったわけです。これに基づいたインターンシップ推進や地域人材の活用などが行われ、一般的にこれらを総じて「キャリア教育」と呼称されていますが、昨今では転職などを繰り返しキャリアアップしていくことに傾斜して使われているように思います。

本校では、キャリア学習を進路選択や進路決定、職業調べや職業体験などの「将来働けるようになる人づくり」でないと考えています。働くことにより経済的、社会的に自立しながら、地域の中で地域や人とかかわって自分の趣味嗜好を生かしながら自分らしく生きるライフプランニング学習、そして、その有用感や実感を中学校のうちに味わっておく学習体験こそがキャリア学習の価値であると考えています。

## 3 女鳥羽中学校のキャリア学習「そのコンセプト」

### (1)1 つ目は、

「自分らしく、豊かな生活を期待し、より具体的に想起したり、夢見たり、設計していくことが大事」ということです。高校選択や将来の職業調べは、大切ですが、大人になったときの 1 週間の自分の生活を考えれば、ずっと働いているわけではありません。一昨年（1 年次）の「私の未来予想図 I」では、自分らしさや自分にとっての豊かな時間を大事に考えました。

### (2)2 つ目は、

生活を支える経済的・社会的自立としての就業は大切ですが、「余暇や趣味も同様に大切に考える」ことです。趣味や好きなことそのものが仕事にならないことはありますが、それを捨て去る必要はありません。趣味が仕事に生かせるときがあったり、生活に潤いを与えたりします。このことは、昨年度（2 年次）の職場体験学習でも気づかされることがありました。（趣味の絵やイラストが書店での POP 制作や保育園での教材づくりに生かされました）

### (3)そして、3 つ目は、

生徒は、将来、地元を離れてどこかで一人暮らしをしているかもしれません。どこにいても、その地域に自分の居場所があり、つながれる人がいること、自分が地域や社会に貢献してい

ることに気づけたり、かかわりを持ったりできるような原体験、人（友だち、まわりの大人、地域の人々）と関わって一緒に何かを創っていくことの味わいを体験させていきたいと考えています。特にキャリア学習３年目（中学校最終年）の今年度は、地域共創の活動を創っておきたいと考えています。

## 4 教育研究テーマについて

全校研究テーマ 「本校の教育理念」

### 「ほんとうに自由に学べる教室」

～相互承認と受容の中で私の学びを実感できる学習指導と支援～

研究テーマにある自由とは、誰もが安心した心と体でいられるとともに、誰にとっても対等な学びが尊重、保障されている場であることを指します。生徒には、成績の上下、理解力・記憶力の上下、技巧性の上下などがあります。教師が、できる子、分かる子、手があげられる子、応えられる子とのやり取りを軸に授業を進めていけば、できない生徒、わからない生徒、手を上げられない生徒は、いつか体も心も閉ざしてしまいます。内容の理解度や記憶力で差がつく教科学習においても、どの生徒も臆することなく、周りと対等な学び手でいられることが本来の「パブリックな場」なのだと考えています。そして、そのパブリックを保証していく守護神が教員なのです。

さまざまな教科・領域での教育研究を進めるうえで、まずは、生徒が「自由な心とからだ」でそこにいられること、そして、束縛も制約も気遣いもなく自由に学べることを基盤に考えて全校研究を進めてきています。

→ 「パブリックの場」とはどういうものなのかを生徒も教員も実感できる一助として「学年道徳」「学級道徳」の公開授業が５月に行われました。また、年に２回、生徒会の運営で実施される全校集会、５月「相互理解集会」１１月「女鳥羽中学校のいいところ紹介集会」が行われています。今年は開校記念祭で仲間の知られていない特技や活動を紹介し演技し、感想を交わし合う「メトバジャンボリー」が行われました。近日中に、「メトバジャンボリーⅡ」が開催予定です。



全校が一堂に会する「相互理解集会」。一人一人の発表に対して感想や共感、励ましなどを交わし合うのがお決まりです。右端は、「メトバジャンボリー」でのブレイキンの演技、ここでも発表毎にマイクが駆け回って感想や称賛の声を拾い上げ、全校で分かち合います。

「総合的な学習の時間」の中核的活動「キャリア学習」の研究テーマ（3年間）

総合的な学習の時間における「地域と共創するキャリア学習」のありかた

キャリア学習3年目の今年の研究テーマ（中学校・生徒・保護者で共有しているテーマ）

みんなが WIN・WIN になる地域共創のキャリア学習

## 5 「総合的な学習の時間 ～キャリア学習～」 3年間の研究内容概要

### （1）研究発表の内容「3年目のキャリア学習」

「総合的な学習の時間」の中核的活動として「キャリア学習」を位置付け、3年間を見通しながら活動（実践研究）し同時にカリキュラムづくりを進めてきました。その3年次（3学年）でのまとめに差しかかる学習場面を今回、授業公開し3年間の研究実践の総括に面向きたいと思います。

### （2）学習活動の要旨

昨年度「私の未来予想図Ⅱ」の学習ノート前書きから～キャリア学習のコンセプト説明に相当～

あなたは、女鳥羽中学校を卒業した後、高校や大学、専門学校などに進み、やがては「はたらく」ようになるでしょう。

たとえば10年後、もう「はたらいている人」がたくさんいることでしょう。その時の生活場所は、松本市だったり、塩尻市や長野市だったり、県外の東京や名古屋、北海道だったり、海外にいてもいいかもしれませんね。

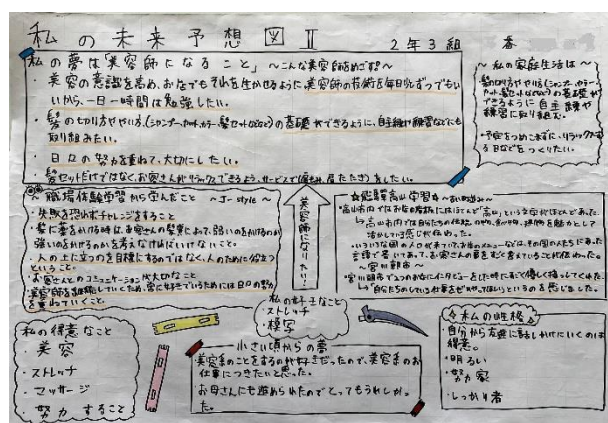
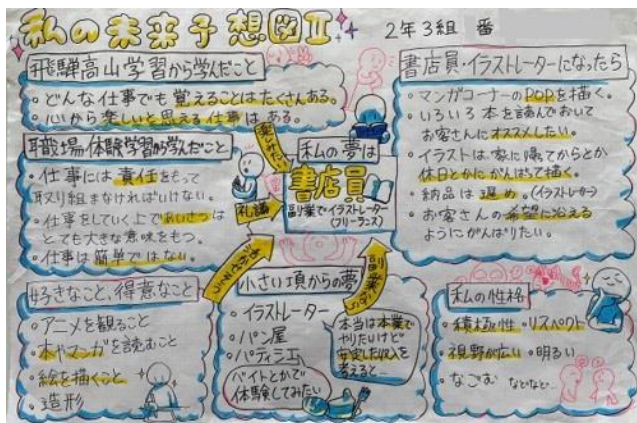
あなたは、その地で「はたらき」ながら「生活」しているわけです。職場では、まだ新人のあなたは、まわりの仲間、先輩、お客さんや取引先の方、さまざまな人たちに支えられてはたらき、得た収入で生活をしています。

一方で、あなたは、職場では、無くてはならない存在であり、あなたの同僚やお客さんや利用者さん、取引のある会社の方・・・は、あなたの「はたらき」によって支えられています。

休日の公園や本屋さん、服屋さん、カフェでいつも会う顔見知りの人や新しくできた友だち、いつもあいさつを交わす近所さん・・・そこで暮らすようになってあなたとつながった人も増えてきたはず。

「はたらいて生活する」ようになった未来のあなたは、「地域に支えられ」「地域を支える」「地域の一員」という、かけがえのない人になっているのです。・・・だから、「未来はあなたを待っています」・・・学年通信や学年PTA資料等にも同内容を掲載してきました。

3年次のキャリア学習（私の未来予想図Ⅲでまとめる予定）は、端的に言えば地域づくりへの参画です。「一般的なキャリア学習」では、自分の興味や関心、特性を踏まえて、進学したい高校を調べ選び、さらに将来の職業や職種を展望することが学習活動の骨格と位置付けられます。これは、個々の生徒の「自己実現」と言えば耳触りがいいけれど、そこには、確かな労働力、確かな納税者の育成という国家や経済界の要望がちらついて見えます。多くの長期欠席者、学校や学級になじめない生徒の存在を踏まえたキャリア学習を考えると、高校調べや高校選択は大事ではありますが、将来も安心、安定して生活ができ、自分らしさを大事にして日々を過ごすこと、過ごせることこそがキャリア学習として大切ではないかと考えてきました。そこで、1、2年次のキャリア学習では、仕事に就いて働くことだけではなく、自由時間や休日の過ごし方も大切に考えて「私の未来予想図Ⅰ・Ⅱ」をつくってきました。→ 本日、体育館等に一部を掲示します。



昨年（2年次）の「私の未来予想図Ⅱ」

3年次のキャリア学習では、中学校や高校、大学を卒業して、学校というコミュニティとのかかわりや居場所が無くなったときに仕事以外の居場所やかかわりの場として、「居住する地域」との結びつきや参画を考え、そこでの人々との具体的なかかわりの「よさ」や「体感、実感」を大事に考え、中学生のうちに実体験させておきたいと願ってきました。

### （3）具体的な学習活動 ～3年次の地域共創のキャリア学習～

#### ①学習の質を決めてしまう素材、題材選択、教材化の重要性

「総合的な学習の時間」の活動だけでなく、すでに地域と結んでいる生徒会活動、部活動、有志の活動などと共創的、横断的に地域とかかわってきました。また、単に地域調べ、まとめ、発表で終わらないようにと考えてきました。

素材・題材選定は教科学習で言えば、単元構想であり、教科書、指導書に相当します。ここからいきなり生徒に丸投げして生徒が見つけた飛びついたりしたものでスタートしてしまうことは避けたいものです。学習目的、学習展開の可能性、学習の深まりや発展性を教師の視点、分析、判断を経ずに未検討、未精査のままに活動に入ってしまうと往々にして「活動の行き詰まり」や「活動あって学び無し」に陥ります。そこで生徒のこれまでの体験や実績、可能性を踏まえた素材・題材選定や教材化、および地域の実情、要望を加味し地域に眠る素材や題材を2年越しで掘り起こして主たる活動を洗い出してきました。何を学習材にするか素材・題材の選定や提案は、教師がすべきであり、そこからの探究方法や展開こそ生徒が自由に選び、考え、存分に取り組むべきだと考えました。まずは教師の教材観、発想力、情報量が学習の質を大いに左右するものと考えて題材展開（学習展開）を構想したわけです。

#### ②地域も学校もWIN・WINの共創

地域や企業によっては、「地域との交流とは言っても学校の活動はせいぜいこの程度」「企業イメージ向上が目的であり学校に協力することは手段」と学校の取り組みに対して甘いように思えます。もちろん、おかげで職場体験学習の実施も無報酬でできています。しかし、できることならば「経済的利益」をも含めた確かな利益が地域や企業に生むことを念頭に活動しなければ、継続的で創造的な学校地域共創の活動はできないのではないかと考えています。地域にとっての利益とは「文化的な価値」があげられます。生徒が卒業し教員が異動しても、その後輩たちや地域の方々に引き継がれていくような「文化」になる活動が共創できればと考えています。

## 6 「みんなが WIN・WIN になる地域共創のキャリア学習」これまでのエピソード

### (1) エピソード1：昨年度「私の未来予想図Ⅱ」キャリア学習中間発表会より これは発表というよりも「SNさんの自分語り」

中間発表は、班内での発表⇒学級内での発表⇒2学年と1学年に向けての発表⇒保護者への発表と続きました。同学年の生徒と共に話したこともない1年生が大勢いる前でSNさんは、語り始めました。

SNさんは、将来「画家」になりたいんですね。  
しかしSNさんが発表で最初に話し始めたのは、  
自分自身のことです。

・・・私の得意なことは

もらい泣き。

人の長所を見つけること。

人を支えること。

人間観察。絵を描くこと。

自分の好きなことに全力で取り組める。

でも、私は、

めっちゃ心配性、

私のメンタルは豆腐です。

小さいころから絵が好きなので、

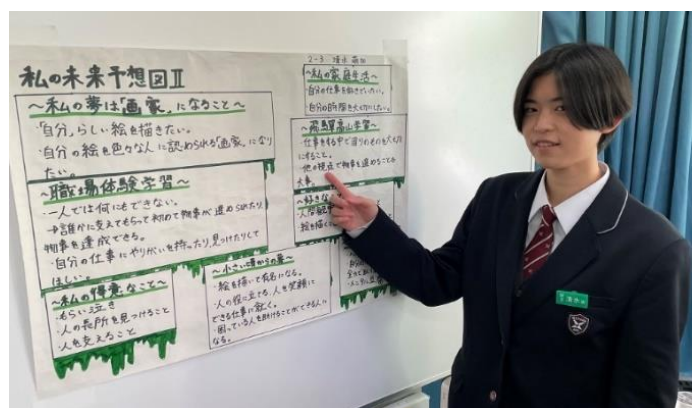
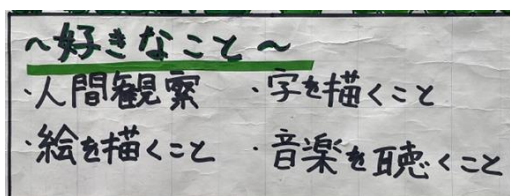
将来「画家」になることが私の夢です。

でも、「親は少し反対していたのがちょっと悲しいです」

私が画家になったら、自分らしい個性を生かした絵を描きたいです。

その絵をいろいろな人に認められるような画家になりたいです。

・・・そんなSNさんは、三学期終業式で2学年代表生徒の作文発表をすることになりました。



### 「三学期を通して」

2年3組 SN

私は三学期を通して感じたことが二つあります。一つ目は、友だちの優しさです。私は、放送委員会の委員長になり、不安や心配でいっぱいでした。初めてのことがたくさんあって、頭を悩ませていたとき、同じクラスのKさんが、「あまりがんばりすぎなくてもいいんだよ」と言ってくれたおかげで、肩の荷が少し軽くなりました。しんどい時に寄りそってくれる友達を大切にしたいと思います。

二つ目は、自分の成長です。今までは他人と自分を比べて落ち込んでいたけど、最近は過去の自分と今の自分を比べて、どこが良くなったか、どこを失敗したのか、次からは、どうしたらいいのかを考えられるようになりました。ですが、まだ他人と自分を比べてしまうことがあります。だから、これからの伸びしろとして、直していきたいです。

春休みが明けると、最高学年になり、生徒会の仕事も忙しくなると思うけど、全て一人で背負わずに仲間と協力してよりよいものにしたいです。そして、後輩たちの手本になれるようなカッコいい三年生になりたいです。

このかけがえのない日々をあたり前だと思わず、大切に過ごしていきたいです。

そして、3年生になったSNさんは、**ブックプロジェクト～女中生本～**講座で写真集づくりをしています。一昨年ころから休日に撮りためた自宅周辺の風景写真は、季節の移ろいや時間の流れを感じさせます。高校進学も考え始めているSNさん。普通科進学校から一転して、私立の美術専攻コースに行きたいと考え始めています。保護者をどう説得するかが悩みどころです。

・・・ 昨年の校内研究紀要より

新研究テーマを掲げて1年余り。「ほんとうに自由に学べる教室」を希求してきたが生徒にとってどうだっただろうか？ ～相互承認と受容の中で私の学びを実感できる学習指導と支援～はできていたのだろうか。このことの評価はアンケートや調査の数値的結果では、分かり（測り）にくい。教育の成果や効果は、名前と顔のある一人一人の生徒の姿や心に近づく入り込むようにしてやっと見えてくるものだと思う。ただし、ここに再掲したSNさんの文章とステージ上での発表の姿、声の響きからは、教室や授業、学校がSNさんが安心して、安定して、自分らしくいられる場所（土壌）となっていた（なってきた）ことが推測される。・・・とすれば、うれしいことだ。（研究推進）

## （２）エピソード２：寝ても覚めてもビオトープのNI君

ビオトープを造成している場所は、浅間温泉に3年前にオープンした「松本十帖※」のホテル「小柳」にある日本庭園です。（※浅間温泉に点在する2棟のホテル、書店、ブックカフェ、レストラン、セレクトショップ、外湯、シールド醸造所、コーヒー焙煎所、ベーカリー、などからなる素敵な施設群）

一度は、閉じた名湯旅館「小柳」の経営を株式会社自遊人が引継ぎ、往時よりさびれている浅間温泉一帯の街再生、回遊性があり人々が集える街づくりを率先して行っています。その趣旨に共感をおぼえて、開業当時から、自遊人と共創できないかとアプローチしてきました。その過程で「小柳」にある日本庭園を「里山を思わせるような自然が取り込まれ、宿泊客や地域の人々が親しみ、集えるような場にしたい」という社長の思いを聞きました。そこで、提案したのが「小柳」の日本庭園の「ビオトープ化」です。

この日本庭園は、「小柳」のエントランスになっているだけでなくベーカリーやセレクトショップへの入り口にもなっていて、人々に開かれた庭になっています。「松本十帖」の開業時には、「小柳」の建物や周辺も改装されましたが、日本庭園は樹木の剪定以外、改修はされず、水中には金魚が繁殖して水質を著しく悪化させ、周辺には、園芸種のミントやスギナが繁茂していました。

ビオトープ化の作業は池の水をかき出し、そこに堆積した土砂の除去と金魚（特定外来種相当）の移動。周辺のミントやスギナなどの雑草の抜き取りでした。これには、かなりの困難を極め、月に1回の2時間続き総合の時間だけでは、間に合いませんでした。それでも、講座の生徒らは意欲的で夏休み中にも有志が早朝に何人も集まって汗だくで作業を進めました。

NI君は、ビオトープにとりわけ入れ込んでいる生徒の一人です。池にいた金魚は、特定外来種で食欲旺盛、水質悪化の主因なので池から出しました。この頃は、池に再び水を張り、新たに在来種の魚類など水中生物を放すのが楽しみです。5時間授業の日や休日には、この講座に所属する大勢の生徒があちこちでイモリなどを検索しています。そして、浅間温泉地区や女鳥羽川の支流などで捕獲した様々な生物が理科室に届きます。再放流までの一時預かり場所が理科室です。

10月23日の夕方、中学校の玄関のチャイムが鳴りました。NI君らが女鳥羽川の支流でヌマエビやアブラハヤ、サワガニなどを捕り、NI君はそれを自宅にあった水槽に入れて、アウトドア用の大型カートで2kmほどの道を延々と引いてきたのです。



女鳥羽中学校 3 学年ビオトープ造成講座メンバーより

## イモリを探しています！

私たちは「地域共創のキャリア学習」の中で松本十帖「小柳」様の日本庭園をビオトープ化しています。

ビオトープとは自然を再現して、その地域に元々いた生物が住みやすい環境を創り出す場所です。そんな自然環境の再現のために準絶滅危惧種であるイモリを放つ予定です。ところが、浅間温泉周辺でも、イモリを急速に見かけなくなっています。そこで、もし、イモリを見つけたら、生息地などの情報を女鳥羽中学校にご連絡ください。

もちろん、イモリをご持参いただければありがたいです。ご協力よろしくお願いします。



女鳥羽中学校  
TEL 0263-46-0285  
窓口 中村、北澤

## 松本十帖「小柳」様 ビオトープについて

・ビオトープとは  
ビオトープとは元々その地域に生息していた様々な動植物が生きていける場所のことを指します。自然と暮らしてありますが、ある程度人が管理し、本来の自然に近い姿を保つことも目指しています。今の予定では、池に、イモリやドジョウ、サワガニ、アマエビ、クロメダカなどを放つと考えています。



・ALPS BAKERY～おいしいパンのお店～

「ALPS BAKERY」にお越しの際は、ぜひ「ビオトープ」ものぞいてみてください。



場所：松本十帖「小柳」1階  
電話着以外も利用できます。  
こだわり：飼料産小麦をほぼ100%使用  
種類：20～30種類のパンを焼いています。

営業日：ALPS BAKERYの休業日は水曜日と木曜日です。  
営業時間は月曜日から金曜日、土曜日、日曜日の10:30から19:30までです。

「ALPS BAKERY」、「ビオトープ」共に、お待ちしております。



ビオトープにぜひ放したいのが「アカハライモリ」です。ところが急速に見かけなくなっており、「よく見かけた」と言われる浅間温泉地区でも、すっかり見なくなっています。そこで、生徒らはイモリ搜索のポスターを作り、校内に貼ったり、「小柳」のALPS BAKERYに貼ってもらったり、11月8、9日に開催の本郷地区文化祭で出店している文化祭講座の仲間の店頭に貼ってもらったりしました。すると、それを見た本郷小学校の児童が心当たりの場所に行き、イモリを捕らえて、再び文化祭会場まで持ってきてくれました。

NI君に尋ねてみました。「学校の総合の時間以外でもこの庭に来ることはあるの？」「来ますよ。ああ、そうですね。時々来ます。(池の中の)橋のところわたって奥まで行って、覗いてみたりします。・・・なんかいるかなって思って。結構来ます。」「ビオトープって楽しい？」「う～ん。・・・まあ、生き物は好きなので、あとヨシノボリ捕まえてこようと思います。ヨシノボリは、放してもいいですかねえ」・・・NI君は、中学校卒業後もビオトープの管理を続けてやってくれることでしょう。

### (3) エピソード3：涙を流して喜んでくれた！今度は「あずさ2号」歌わなきゃ！

出張パフォーマンス講座は、少人数のメンバーでスタートしました。地域内の福祉施設やイベントに出張して、演奏や演技を披露したり、ゲームをしたりして交流の場をつくっていただく講座です。

最初に出張したのは、学校に近い高齢者福祉施設でした。ランチルームには、十数人のお年寄りが集まっていました。司会は、IK さんです。最初の演目は、MA さんとMKo さんのダンスです。K-POP に乗ってカッコいい～ダンスを披露しました。「あそこの人たちには、ちょっと新しすぎたかも～(笑)」MA さん談。あとで MKo さんにインタビューすると、「最初は緊張していたけど、踊っているとだんだんと楽しくなってきた。いつも通りに踊れた」とのこと。

次は、3人での合奏です。MKi さんがピアノ、KH さんがクラリネット、WR さんがホルンです。人前で話すのはあまり得意ではない MKi さんですが、「緊張しないで歌えた」と笑顔で話してくれました。

最後は、みんなで合唱です。音楽会で3組が歌った、ミセスの「ダーリン」を歌いました。すると、会場から「あずさ2号」のリクエストが入ります。これは練習していないので代わりに音楽会の学年合唱曲「大地讃頌」を歌

いました。

MKiさんは、演奏中に気づいていましたが、「お年寄りの中には、涙を流して喜んでいた」と講座担当の丸山先生から聞いて、皆は、一様に「行ってよかったな。やって良かったな。又、来たいな」と思いました。次の訪問は、11月7日になりました。今度は、練習しておいた「あずさ2号」を皆で歌うことになりました。

11月7日、この日は、2回目の施設訪問でした。今回は、車いすのお年寄りも大勢集まってきてくれています。パフォーマンスの見せ場は、この日のために練習しておいた「あずさ2号」の合唱です。会場が大いに盛り上がりました。フィナーレは、今回も「大地讃頌」です。なんと、何人ものお年寄りが一緒に大地讃頌を歌ってくれていました。そして、歌いながらたくさんの方が涙を流しているのです。

IKさんに、今後どうしていきたいかインタビューしました。「あんまり話せなかったのも、もっとコミュニケーションをとりたいです。……私、個人的には、信大病院に行って、患者さんたちに見せたいです」との事。自分自身が大病をして信大病院にお世話になったのでその恩返しをしたい。そのことがあって頑張っている人の役に立ちたいとの思いでこの講座に参加したのだと話してくれました。



控室で際数打ち合わせ。



器楽演奏はジブリ映画の曲



高速ダンスに口あんぐり



スタッフさんとも仲良くなりました

#### (4) エピソード4：オレって小さい子 苦手なんですけど～、結構できました。

本郷地区文化祭は、様々な催し物がある大イベントで本郷公民館と浅間温泉文化センターを会場に行われます。女鳥羽中学校からは、これまで吹奏楽部が招待され出演してきました。他にも中学生にボランティアで参加してくれないかと募集があり、それならば、と企画段階から中学生が関わっていければと「文化祭講座」が立ち上がりました。本講座の全員が企画会議に出て、中学生が担当するブースや運営上の分担などを放し合いました。当初は、中学生の発想は、安売りの菓子などを購入してきて上乗せして販売する、地元の農家からサツマイモを安く仕入れて焼き芋にして販売する。といった転売屋のようなものでした。

ほどなくして、公民館長から「何らかの儲けを出して資金を得たいのか？」と問われたり、「中学生の良さを発揮してほしい」と要望されたりしました。改めて、「何のためにやるのか？誰のためにやるのか？来場者が喜ぶのは何か・・・」などを考え合い参加方法やその内容がやっと形になってきました。いよいよ、文化祭の期日が迫ってくると講座の生徒で放課後に集まって準備や確認をしていました。

NT 君が寄ってきて「先生、聞いてくださいよお。すごい大変なんです。でも、聞いてくださいよお。オレの企画が通ったんですよ。飲み物売るんです」と笑顔で教えてくれました。

当日は、「射的」も担当です。仲間が持ってきた「エア・ピストル」で的のお菓子を狙います。このコーナーは、小さい子を連れたファミリーにも大人気でした。

終わったあとに「どうだった？」とNT君に尋ねると「飲み物全部売れてめちゃうれしかったです」・・・「射的はどうだった？」・・・「オレって、小さい子苦手なんですけどお。けっこうふつうにできたと思います。なんか、けっこう喜んでくれてたんじゃないかなって思います。こんな感じで良かったかなって思います」・・・「何か、こうしたらいいとかある？」・・・「えっと、あの、ピストルの、あれ、引き金が小さい子には固すぎて、もっと力がいらぬのがいいなと思っていました」・・・ここでHM君が入ってきて「お前、家近いんだから来年も来いよな」「お前だっ来いよな」・・・「あっ、HMって準備とか全然やらないで、でも、当日、本番では、本当に接客がすごくて、やっぱ血筋か～、ってくらいすごかった。うん、です」



NT 君。小さい子と同じ目の高さで



呼び込みをし続ける HM 君(左)



本郷小、女鳥羽中、松本第一高校、信州大学：総勢 180 人の大合奏



文化祭講座：司会シスターズ

## 7 ここまでのまとめ

### 〇〇力とか、〇〇力とか、じゃあないんだよなあ・・・

「みんなが WIN・WIN になる地域共創のキャリア学習」が始って半年になります。少しずつですが、女鳥羽中学校の中でも学年を超えたつながりが広がりつつあります。文化祭運営では、2 年生も参加しました。1 年生もボランティアとして音楽会の運営に携わりました。本郷公民館の方々に「中学生はどうですか？役立っていますか？」と尋ねると、「私たちの方がパワーをもらっています」と笑顔が返ってきました。

「松本十帖」のスタッフも「本郷地区文化祭」に女鳥羽中の生徒が関わっていることや来場した小学生によりイモリが見つかったことを知っています。本郷公民館長も「(小柳の庭のビオトープ化)がだんだん進んできましたね～」と見ていてくれています。

キャリア学習(キャリア教育)でも、他の学習でも、コミュニケーション力は、重要だと言われます。コミュニケーション力の向上には、聴く力や聞き取った内容を理解する力、話す内容を整理する力、身振り手振りなどの表現を加えて相手に伝える力・・・などなどのベースとなる力を日頃から、話し合い活動やディベートなどで鍛えましょうとなります。

でも、やっぱり大事なものは、人と関わって、話したり、聞いたり、受け入れてあげたり、受け入れてもらったり、一緒にな～んかやったり、それがちょっとよかったりといった体験こそだと思います。そんな、体験、体感、記憶が、子どもたちの頭やからだに残っていることが、将来も、どこにいても、人々の中というか人々とのつながりを感じながら生きていけるようになるのではないかと思います。・・・そうあってほしいです。

帰り際 トランペットの音響く  
懐かしき音 時間が止まる  
あと一点 その一点が 君との差  
乗り越えられたら 追いつけるんだ  
夜が明けて 太陽昇る 始まるよ  
いつも通りの 新たな日々が  
帰宅して 君の姿を 思い出す  
早く明日に なってください  
雪積もる 窓から眺め  
思い出す一年間を 真っ白に  
隣には 君がいるのに 話せない  
胸の鼓動が 邪魔をしている  
学習は 忘れたところに やってくる  
生きてる限り 終わりはしない  
辛いなら 少しだけでも 休んでさ  
たまにはのんびり 行こうじゃないか  
雨が降る 憂鬱な日でも 傘なしで  
外歩いたら 面白そう

ブックプロジェクト講座：IAさんは、書き溜めた歌で歌集を作ろうとしています。

資料

松本市立女鳥羽中学校周辺図



【ご案内】

- ・北側の富成伍郎商店（豆腐店）からが分かりやすく入れます。
- ・女鳥羽中学校周辺は道幅が大変狭いため、車の運転にはご注意ください。
- ・正門(校舎東側)からお入りいただき、玄関前に駐車してください。

## 校舎内・各会場の配置図

